

事業所名：四天王寺悲田院児童発達支援センター

配布数 51 回収数：34 回収率：66%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	25	9	<ul style="list-style-type: none"> ロッカーで適度に仕切りを作るなど調整している。 子供がぶつからないように、声かけし、保護者にもご注意していただいている。
	2	職員の配置数は適切であるか	25	9	<ul style="list-style-type: none"> 法的な配置基準は守られているが、子どもの状況によっては職員の配置の検討が必要。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	24	10	<ul style="list-style-type: none"> 視覚的にも見て遊びを選びやすくなっている。 特段に特性に応じた工夫は感じない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	26	8	<ul style="list-style-type: none"> 清掃など衛生面に関する配慮は徹底されて対応している。 配管の汚れからなのか、腐敗した物の匂いが部屋に充満している日が時々あり、不衛生な印象を利用者に与えてしまっている。（特に午前中）
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	29	5	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な上司と面談等が実施されており、各職員の気づきや工夫などの意見を出しやすい。が、採用されるまでに時間がかかる。 クラスミーティングなど各種会議で話し合って改善されていっている。 業務改善を進める動きがあることを、あまり知りませんでした。職員が広く関わっている実感が無い。職員会議を検討の場とするか、業務改善の係を設置することが必要ではと考える。 受け身の職員が多く、広く職員が参画しているとは思えない。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	29	5	<ul style="list-style-type: none"> 保護者からの意見に対して、迅速に誠意を見せるよう努めているように思う。 職員全体が把握し、どう改善していくのか改善案を共有できていない。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	34	0	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	34	<ul style="list-style-type: none"> 現在は第三者機関の評価を受審していないが、早急に必要と考える。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	29	5	<ul style="list-style-type: none"> 年間で研修予定を立て実施している。前持って見通しが分かれば参加しやすいと考えている。 いつでも視聴できる動画研修も用意してくれているので、時間を作り視聴している。 新たな知識を得るだけでなく、施設内のケース検討など体験的・実践的な内容があるとさらに理解が深まると感じている。 業務の効率が優先となり、行きたい研修に行けないことも多い。定例的な研修に関しては供給されている。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	29	5	<ul style="list-style-type: none"> 保護者のニーズは念入りに聞き取りが行われていると思う。 保護者との懇談の中で寄り添って解決の糸口を探すようにしている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	26	8	<ul style="list-style-type: none"> 発達検査は保護者の希望に応じて行っている。保育のアセスメントツールは保護者からの主観的な聞き取りを基にしたものになっており、標準化されているとは断言しにくい。 標準化したツールがあれば情報共有しやすいと考える。 発達検査を実施してるが、主観的評価が中心になっているのが現状だと思う。
	12	児童発達支援計画には、「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」それぞれに対し、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	30	4	

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	31	3	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス職員間だけでなく、他職種とも情報共有している。 ・職種間連携は改善の余地があると感じている。 ・支援内容がクラスによって、十分浸透していないように感じる。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	27	7	<ul style="list-style-type: none"> ・チームで議論しながら設定内容を決めている。 ・個別での様子や課題について、他部門と共有するようにしている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	32	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保育職員の中で、プログラムについての勉強会を開催したり、情報共有等を行っている。 ・特に午後の自由保育の内容に偏りがあるように感じる。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	31	3	<ul style="list-style-type: none"> ・更に専門職員と連携した計画作成を目指したい。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	29	5	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡ノート記入である程度はできています。添乗業務や出勤時間が異なり、内容把握が充分でない時があると感じている。 ・連絡ノートを活用し、紙面上での確認も行い業務にあたっている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	27	7	<ul style="list-style-type: none"> ・実施しているが、共有できる時間が少なく、量と質には課題点があると感じる。 ・バス添乗業務や懇談が入ると共有時間を確保するのは難しいですが、支援の振り返りと情報共有は大切だと思っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	31	3	<ul style="list-style-type: none"> ・記録を検証、改善に活かしている例は少ない様に感じます。が、口頭での日々の支援内容の振り返りを行い、改善に繋げています。保護者からの情報に関しては、すぐに改善につなげようとする動きはある。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	32	2	<ul style="list-style-type: none"> ・他職種とも情報共有し、モニタリングの進捗を確認している。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	30	4	
関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	31	3	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達管理責任者を通して、関わる職員で情報共有し連携に努めている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	32	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者を介して情報共有している。 ・関係機関の方が来園した際などに情報共有している。 ・定期的ではないが、節目ごとに担当課の職員と情報共有している。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	32	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者を介して情報共有している。 ・看護師より医療機関に聞き取りをしている。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	31	3	<ul style="list-style-type: none"> ・卒退園児フォローの体制を設け、必要に応じて支援を行っている。 ・進路先からの要望があれば、情報共有の場を設けている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	32	2	<ul style="list-style-type: none"> ・共有に努めている。 ・困りごと等の質問があれば、話し合う機会を設けている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	27	7	<ul style="list-style-type: none"> ・一部の職員は参画できている。 ・他機関の研修に参加し、必要な情報は会議を通じて報告されている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	31	3	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接したこども園との交流保育を継続して実施している。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	27	7	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の代表者が参加し、必要な情報は会議を通じて報告されている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	34	0	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ポータル等)の支援を行っているか	29	5	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状況を踏まえ、保護者のニーズを聞きながら家庭で実施して頂くプログラムの提案を行い、進捗状況を確認し、新たな提案を伝える事を実施している。

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	32	2	・入園オリエンテーションや利用料の改定がある際に保護者に個別に書面と共に説明している。
	33	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	32	2	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	33	1	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	32	2	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	33	1	・悩んでいる保護者などに対して、クラス職員だけでなく、心理士や関わった方が良い職種が適宜、懇談を実施し対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	32	2	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	34	0	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	34	0	
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	32	2	・こども園と合同で「でんでん」という地域の子どもが参加できる行事を11月に開催している。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	32	2	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	34	0	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	34	0	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	34	0	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	32	2	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	34	0	・業務上の理由で参加者が少ない時もあり、活発ではないように感じる。 ・委員会より、定期的に研修がなされ意見交換が行われている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	30	4	